

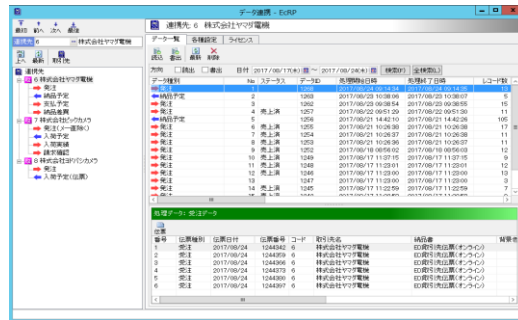
※これより先に記載いただいた情報は取りまとめ後に公表させていただきます。

ツール名	データ連携エンジン「SXP」				
一言説明 (32文字以内)	データをカテゴリ別に一元的に格納し標準化に則して連携するしくみ				
ユースケース 分類	対象領域 ↓チェック欄		目的		
	○A 現場カイゼン	イ 品質向上・安定化/不良率低減	<input type="checkbox"/> 1 作業員のポカよけ <input type="checkbox"/> 2 設備の加工誤差最小化		
		ロ 生産性向上/コスト削減	<input type="checkbox"/> 3 ダウンタイム削減 <input type="checkbox"/> 4 設備・人の稼働率向上 <input type="checkbox"/> 5 人の作業を効率化・負担軽減		
	○B 業務プロセス改善	ロ 生産性向上/コスト削減	<input type="checkbox"/> 6 生産に係るリソースの最適配分 <input type="checkbox"/> 7 在庫の最適化		
		ホ 顧客基盤拡大	<input type="checkbox"/> 8 多様なニーズへの対応 <input type="checkbox"/> 9 共同受注体の形成		
	○C 製造プロセス最適化	イ 品質向上・安定化/不良率低減	<input type="checkbox"/> 10 設計品質の向上 <input type="checkbox"/> 11 トレーサビリティの確保		
		ロ 生産性向上/コスト削減	<input type="checkbox"/> 12 材料の使用量の削減		
		ハ 技能継承/人材育成	<input type="checkbox"/> 13 多様な人材の活用 <input type="checkbox"/> 14 技能の継承		
		ニ リードタイム削減	<input type="checkbox"/> 15 設計開発・見積りの自動化 <input type="checkbox"/> 16 仕様変更への対応の迅速化 <input type="checkbox"/> 17 生産ライン設計の効率化		
		ホ 顧客基盤拡大	<input type="checkbox"/> 18 マーケティング強化 <input type="checkbox"/> 19 サービス化 <input type="checkbox"/> 20 製品性能・機能向上		
その他のユースケースに対し、該当する対象領域、目的について上記から記号でお示しいただくか、上記以外の場合はそれぞれ具体的に記入下さい。		<input checked="" type="checkbox"/>	その他のユースケース		
データの蓄積と管理	フィルタリングと標準化	工場や企業間で情報連携をする際の課題を解決するためのツール			
機能分類	機能領域・・・※ツールの機能領域について該当するすべての箇所をチェック下さい。				
	個別の機能→ ↓横単に跨る機能	<input checked="" type="checkbox"/> ①データを上げる	<input checked="" type="checkbox"/> ②データをためる	<input type="checkbox"/> ③データを分析する <input checked="" type="checkbox"/> ④データを活用する	
	⑤データを見せる	(どの領域における見える化かは次ページの概要にご記載下さい。)			
	⑥導入支援	(どの領域における支援かは次ページの概要にご記載下さい。)			
導入費用 導入容易性	立上げ・導入期間	<input type="radio"/> 即日	<input type="radio"/> 3日以内	<input type="radio"/> 1週間以内	<input checked="" type="radio"/> 1か月以内
	導入開始から1年間で発生する想定コストレンジ	<input type="radio"/> ~3万円未満	<input type="radio"/> 3万円~10万円未満	<input type="radio"/> 10万円~50万円未満	<input checked="" type="radio"/> 50万円以上
	初期費用	導入支援:10万円~			
	ランニングコスト	クラウド運用環境による + 1アカウント:5千円/月			
	その他(導入支援費等)	導入支援:10万円~/月			
	1個売りの可否	<input checked="" type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 不可		
	(費用等に関する補足、導入時の手続き、手順等をご記入ください。)(200文字以内)				
初期費用として、工場間あるいは企業間でデータ連携を行うメッセージやファイルの仕様を確定し、その定義を行うと共に、データ連携プラットフォームをクラウド上に構築する。簡単なものであれば10万円ほど。難しく難解なものであれば投下体力により見積書を提示します。 ランニングコストとしては、AWSなどのクラウド環境の維持費とデータ連携をするアカウント毎に5千円/月の費用を頂戴いたします。					

ツール概要	●機能分類でチェックした機能について、ご記載下さい。(どのような構成で、どのように作用し、どう機能するのかについてご記入ください。)(それぞれ120文字以内)	
	①データを上げる	企業や機器から取得できるデータを適宜送信すると、予め定めた識別子と項目(桁数や属性)に則りフィルタリングされる。
	②データをためる	EDIにおける注文データのように企業や機器から取得できるデータのフォーマットは多種多様に異なる。これらのデータを予め定めた識別子と項目(桁数や属性)に則り、格納し、参照するには同じ内容で取得できるように各種データを標準的に格納する。
	③データを分析する	
	④データを活用する	異なる企業や機器から取得されたデータが、分類されたカテゴリ毎に予め企業間で標準化された内容で参照することができる。これらのデータを参照する各種ツールを汎用的に作成することが可能となる。
	⑤データを見せる	
	⑥導入支援・その他	
有効性 安全性	●ツールに関する機能やセキュリティ面等の安全性についてご記入下さい。(300文字以内) 2005年から開発を始め2007年にバージョン1が完成し現在はバージョン2が、特にEDIが必要とされる流通業界の中小企業にて利用されている。各種取引先の個別EDIに対応し、プロファイルを定義するのみで安定的にデータ連携を実現している。2012年には「データ管理システム」としての特許も認可(特許取得済み:特開2008-243193&特開2007-213551)され、最近ではクラウド環境での運用を推進し、現場対応と同じサポートを実施している。	
波及効果	●波及効果や、機能領域区分における他のツールで相性の良いツール、想定ユースケース以外の活用可能ケース等についてご記入下さい。(具体的なものであれば追加でご応募下さい)(300文字以内) 本システムはEDIにとどまらず、企業間、工場間、システム間、あるいは機器間のデータ連携を実現し、IoTプラットフォームの構築を推進する。最大の特徴としてはデータ連携項目の標準化を図ることが可能であるため、これらのデータを参照するツールの汎用的な利用が可能となり、相乗効果として、企業間、工場間、システム間のデータ連携の拡大を育む。	

- 導入事例・実績・SI・コンサル等の支援体制、ツールに関する情報(市販ツール、ツールの転用、自作ツール)等について、自由にご記入下さい。(書式内に、写真や図等の張り付け、ご使用下さい。)(1000文字以内)
- 別途、図や写真等のビジュアル中心を想定した追加フォーマットをご用意しております。ビジュアル用のフォーマットは主に公表後のPR等に活用する予定ですので、キービジュアル等はそちらにもお示し下さい。

以下は、大手家電量販店と取引のある中小企業が利用している販売管理ソフトのデータ連携画面である。

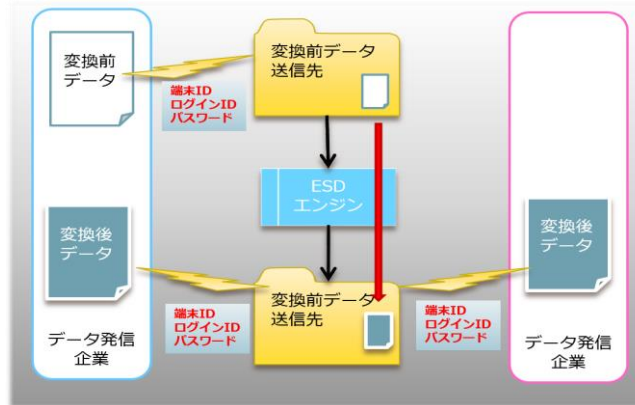


大手量販店の3社3様のEDIメッセージ交換仕様であるにも関わらず、発注、入荷予定、請求等のデータ交換を実現している。

これは、3社の各種メッセージフォーマットがバラバラであるにも関わらず、各種データを一元的に格納し、「流通BMS」に定められた標準項目を介して販売管理ソフトの管理する各種テーブル項目にデータ連携していることで実現している。

この仕組みは、例えば仕様の異なる金型機器から送信される各種データを一元的に蓄積し、格納されたデータを予め定められた仕様(項目名、属性、レングス等)で取得できるIoTプラットフォームを構築することが可能であり、様々なサービス機能を提供するツールを提供することが可能となる。

下図は、データ連携の自動化イメージである。



データ変換方法を指定あるいは予め定めてあるインターネット上のフォルダに、データ送信先を指定あるいは予め定めてデータを送信すると、SXPエンジンがデータを変換&交換(暗号化/複合化も含む)し、その結果の出力データをこれも定められたインターネット上にフォルダに生成し、返還前のデータを削除するシステムである。取引のある企業間で定めたデータ送受信インフラとして利用できる。

導入事例
(自由記述)

(問合せ先情報を、開示可能な範囲でご記載下さい。)

問合せ先情報 (ユーザ企業からの問合せ先)	企業・団体名/ 個人名	(フリガナ) サブリ ヒロシ SOOP株式会社	企業区分	<input type="radio"/> 大企業(300人以上)
				<input checked="" type="radio"/> 中小企業(300人未満)
	所在地	都道府県 市町村以下(フリガナ) 愛知県 一宮市真清田1-4-6		<input type="radio"/> 団体
	企業HP	http://soop.co.jp/		<input type="radio"/> 個人
	ツールのWebサイト、動画サイト (3つまで)			
問い合わせ窓口 担当者	担当者名	(フリガナ) サブリ ヒロシ 佐分 博		
	ご連絡先	電話番号 0586-64-7981 E-mail saburi@soop.co.jp		